

協議会議事録	
会議名	平成21年度 第7回江田島市公共交通協議会
日時	平成22年3月25日(木) 13:30~15:00
出席者	別紙出席者名簿
1 開会	
事務局	開会宣言
2 会長あいさつ	
会長	あいさつ
3 議長の選任について	
事務局	野原委員を議長に選任
4 協議	
(1) 江田島市地域公共交通総合連携計画の策定について	
事務局	<p>－資料「江田島市地域公共交通総合連携計画の概要」、「江田島市地域公共交通総合連携計画」により説明－</p> <p>前回からの修正箇所として、背景と目的は序章に残し、計画区域、計画期間は第2章に移動した。内容は、前回の修正から変更していない。これが最終形であり、この計画書に別冊としてこれまで調査した結果や協議会で使用したデータ等を添付し、まとめて国に提出する。事務局に一任していただきたい。</p>
議長	<p>質問や意見はいかがか。</p> <p>無いようなので、この書類を国土交通省に宛てて送付するようお願いしたい。</p>
(2) 江田島市地域公共交通活性化・再生事業計画の認定申請について	
事務局	<p>－資料1-1により説明－</p> <p>本日説明し、了承いただければこの内容で認定申請を行いたい。</p>
議長	<p>気をつけたいのは、事業費に2分の1とはいえ国費が見込として当てられている。事業仕分けの対象にはなっているが恐らくこの額は確保できるだろうとの数字を示しているもので、絶対確定とは言えない。何かご意見ご質問は？</p>
委員	<p>前回の委員会で、西能美航路統合の運賃について、現行1,030円から930円に値下げする事と、10回分の料金で12枚綴りの回数券が買える、つまり回数券を買えば1回あたり775円になると説明いただいた。フェリーの代金で高速船というのがオーソドックスな運賃設定と思われるが、それが不可能という中では今言われたやり方しかないのかと</p>

	<p>思われる。しかし実際の利用者は高齢者の通院利用等が多く、このような交通弱者の方々が一度に多額の回数券代を支払う事は困難だと思う。10枚の代金で12回分の回数券でなく、5枚の代金で6回分の回数券という買い方はできないものか？</p> <p>三高のフェリー集約については了承したが、今の案では、パーフェクトに条件をクリアしているわけではなく、若干不満も残る。交通弱者に対する配慮を細やかにしてほしい。</p> <p>身体障害者に対して、全ての公共交通は法律で半額だけ個人負担となっている。例えば、病気で広島に通院する際は、障害者と同様に半額助成してはどうか。能美町の時代には適用されていた事であるが、この制度を全市に広げてほしい。これは政策に関わる事なので会長にお願いしたい。</p>
議長	1つめについては事務局から回答をお願いしたい。高速船の運賃について12枚綴りが9,300円のところを安く分割できないかという事だが。
事務局	企業局と協議して決める事項であり、その中で状況確認しながら回答していきたい。
議長	それでは協議会でこのような要望があった事をふまえ、検討いただきたい。2つめは会長から。
会長	今ご提案いただいた事は、旧能美町時代に行われていた事であり、全市的な視野で考えていく必要がある。どの程度経費がかかるか試算し、一定の合意が得られれば議会の同意を得る必要がある。時間がかかるとは思いますが新年度に向け検討の余地がある。
議長	それでは会長が承ったという事でご提言をお願いしたい。
委員	資料の体裁も考えるべき。資料を整えるべき。
委員	航路の統合について、問題は最終的に運賃である。運賃改正は市議会の議決が必要と書かれているが、議会に報告をし、討議していただいているのか。
議長	当協議会の審議事項は議会に通じているのかという質問だが？
事務局	協議会のスタート時点と途中段階の経過報告をした事がある。議会の交通問題調査特別委員会の場で一度途中経過の説明もした。計画書に金額等は出てこないの料金設定は現時点では案であり、議会や特別委員会との調整をしながら最終的に決定という事になる。
議長	交通弱者への配慮など、この協議会で討議されている内容は次回の議会でもしっかり討議してほしい。他にご意見は？
委員	お願いであるが、船の料金を下げた場合の地域への効果を調べて欲しい。料金を下げると地域にどのような影響があるのか。船を利用する人の増加、定住促進などの効果があるのかコンサルタントは考えなが

	ら調査していただきたい。
議長	事務局からコンサルタントへお伝え願う。
事務局	この場にも来ている。ご意見いただいたという事で。
議長	単に経済効果だけではなく社会的効果という面からもどういう効果がこの島へ影響を与えるのかを調べてほしい。コンサルタントもこの場にいるのでご理解いただきたい。他にご意見は？
委員	資料1-1の3ページ、交通空白不便地域への移動手手段確保に45百万円とあるが、その内容について具体的にうかがいたい。タクシー代の補助になるのかなど。
議長	先ほども説明があり、私はデマンド型交通と理解しているが、可能であれば詳細に説明願う。
事務局	連携計画書の24ページをご覧いただきたい。江田島地区と沖美地区の2地区は本協議会で承認されたもので、ここから実証運行を行う。車両はジャンボタクシーを使い、週に2日デマンド形式で実施する。これを各年2地区ずつ追加し、3年でトータル6地区実施できればと思っている。経費は、運行経費（運賃だけで足りない部分の補填）、車両購入（車両が無い場合市で購入し貸与）などが含まれている。候補地で挙がっていた地区（深江など）に順次展開して行けたらと思っている。
議長	初年度はジャンボタクシーの購入も含めた予算であり高額となっているが、年々少なくなる。 ご質問が尽きたようなので江田島市地域公共交通活性化・再生事業計画認定申請は提案通りに決定し、申請の手続きを行いたい。 また、コンサルタントへの注文、交通空白不便地域への支援、交通弱者への配慮をお願いしたい。
(3) 平成21年度歳入歳出予算の決算見込みについて	
事務局	資料2により説明
議長	ご意見は？無いようなので承認とする。
5 報 告	
(1) 地域公共交通活性化・再生総合事業に関する事後評価（二次評価）の結果について	
事務局	資料3により説明
議長	最後の部分は割愛、委員の皆さんには目を通してもらいたいとの事。 何か、ご意見ご質問はないか？
委員	高速道路の無料化実験を心配している。半額になったときから現在までの流れを整理した上で、6月以降の推測される状況を早めに検討してほしい。これは国土交通省でどのように調査するのか情報があれば伺

	いたい。
事務局	クレアラインに関して、航路事業者向けの調査をする事を国は考えていない。第二音戸大橋については、県が影響調査等考えていると聞いている。よって、クレアラインの無料化が始まる6月以前の航路調査については西能美の事業費に含めて実施させてもらっている。
委員	クレアラインの無料化の社会実験が6月から始まる。道路の渋滞やCO ₂ の増加が予想される中、環境や競合する公共交通への影響を計る実験である。今後、本省の道路局から全国の社会実験をする無料区間について具体的な調査内容が発表されると思う。今現在、詳細な事は分かっていない。
議長	6月から始まる社会実験はいつまで？それも分かっていない？
委員	単年度予算がついているので単年度は確実であるが、詳細は確定していない。
議長	6月から始まるのだけは確定事項であり、地域や航路への影響が大きく心配な所である。
(2) 地元代表者への説明会の開催について	
事務局	資料4により説明
議長	3月29日に農村環境改善センターで説明会があるとの事。何かご意見ご質問などは？
委員	10、11ページで実証実験の便数があるが、航路事業者は了承しているのか？
事務局	資料は企業局、芸備商船に作っていただいております。ただし、企業局に関しては議会承認が必要。
議長	江田島市の企業局と芸備商船にはご理解いただいているとの事。先ほどの説明の中で、今回は農村環境改善センターで行うが他地域でも希望があれば出向くとの事。
委員	この利用者見込の数字は切符を購入して乗船する場合のみ？
事務局	切符購入の一般客と定期の客を含んでいる。
委員	定期客の変動予測をした方が良いかと思われる。特に学生について。また、運賃の改正に関して、運賃だけでなく現状の燃料費などの前提も明示し、説明した方が良いのでは。聞いていただく方に改正の根拠について理解していただくためにも。
委員	3月29日の説明会は、住民の声を聞く事ができる今年度最後の場である。一般の傍聴も可能という事だが意見交換の場は設けられるのか？
事務局	進行に関しては具体的に決めていないがこちらの思いとしては傍聴の方からも意見を求める機会を設けたい。

委員	個人的意見であるが、自治会、老人クラブ、女性会等代表の方が来られて意見交換する場であり、代表者がある程度地域の皆さんの意見をまとめておく必要があると思う。皆が意見を言い出すと収拾がつかなくなるのでは。
議長	原則としては代表者が地域の方の意見をまとめておくべきだが、必ずしも全て集約できるとは限らない。時間があれば傍聴人の意見も聞くという事で。
委員	どちらもおっしゃる通り。29日の説明会の案内をいただいたが、どの団体に声をかけたか記載がない。私共の団体は400人会員がいるのにどうやって意見がまとめられるのか？3月は仕方がないが、4月のなるべく早い機会に、例えば能美町にある中町公民館などで集まって意見を聞いて下さいなど周知すべき。
議長	そのあたりも含め事務局にご配慮いただきたい。交通問題は全ての住民に関わる事なのでできるだけ多くの方にご意見を伺うのが筋である。手違い等で情報が流れないという事の無いようにしたい。
6 その他	
議長	事務局より何か？
事務局	2点ある。1点目、本協議会の予算については国の査定、議会の予算確定後にさせていただく。2点目、議会の特別委員会の委員長・副委員長を次年度の本協議会委員に追加してはとの意見がある。本協議会でご了解いただければ来年度から新メンバーとして加えたい。
議長	この場合のメンバーは、何名？
事務局	委員会の委員長・副委員長で2名と考えている。
議長	1点目、予算は国の見込額ではっきりしないが決まり次第新年度に向けて取り組みたい。2点目は市議会から委員長・副委員長を本協議会の委員に加えたい。
会長	まだ議会に諮っていないのでこれから議会に投げかけて、了解が得られれば2名追加したい。この場で2名くらいがいいとの了解をいただければ議会に提案していきたい。
議長	了解いただきたい。他に何か？
委員	航路料金の設定は、他の航路に大きな影響を与える。これをご理解いただいた上で説明会に臨んでほしい。交通弱者は全市に住んでいるので、この料金設定によって他の航路が成り立たなくなるという事のないようお願いしたい。
議長	事業者の側からご提案で、他の航路についても考えてほしいとの事。充分考慮していかねばならない。

第7回江田島市公共交通協議会（H22.3.25）

	今回が今年度最後であり、次回は次年度となるが、新年度も引き続きよろしく願いしたい。
7 閉 会	